

H23. 6. 14
農商工の橋渡し役育成

沼隈内海
商工会

来月から研修30人募る

福山市の沼隈内海商
工会は7月から、「農
商工連携コーディネー
ター」を育成する。地
元の農林漁業者と加
工、小売業者の橋渡し
役を務め、商品開発や
販路開拓を進める。受
講生を30人募る。

研修は7月2日～10
月9日に全9回開く。
広島市中区の物産館
「ひろしま夢ぷらざ」
の倉岡達志所長や、備
後特産品研究会の中島
基晴会長たちが、商品
開発の成功例などを解
説。漁具などを置くい
かだを改造し、海鮮バ
ーベキュー店を出して
いる高知県須崎市など
も視察する。

市内の中小企業者や
農林漁業者などを先着
順で募集する。5、6
グループで新商品や販
売戦略の事業計画も作
る。受講後はコーディ
ネーターとして商工会
に登録する。

内海町は県内一の生
産量があるノリ生産と
漁業が衰退しつつあ

り、後継者不足にあえ
ぐ。沼隈町も特産ブド
ウの加工品の販路拡大
が伸び悩んでいるた
め、農林漁業の活性化
を目指して企画した。

任主事は「若者の起業
や雇用創出につなげた
い」と話す。視察の食
事代などを除いて無
料。同商工会☎084
(987) 0328。
(水川恭輔)

商工会の藤本貴史主